

農政学特論 I (2単位)

担当者氏名 田中裕人

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

現代の情報化かつ国際化社会の中で、社会調査やデータ解析はその重要性をますます高めている。さらに専門領域を離れた日常社会の中で、氾濫する情報を的確に収集・処理・判断するためにも、統計学の知識は必須となっている。授業では、実態分析の適応を前提に学び、修士論文に関連する分析に必要な力の養成を到達目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

経済データ社会調査母集団標本調査票平均値標準偏差相関係数

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	履修の注意と総論	・履修上の注意点、社会調査について	本授業のねらいは、社会調査やデータ解析に関する理論と応用について理解し、論文に活用できるようにすることである。事前の学習により、講師に質問する等により、授業内容を理解する必要がある。事前の予習及び復習は理解できるまで1~2時間行うこと。また、関連する論文を探して授業中に発表すること。
2	情報検索	・図書館及びインターネットを利用した情報検索	
3	社会調査のルール	・社会調査の基本ルールについて	
4	調査票の作成 (1)	・調査票の作成に関する注意点	
5	調査票の作成 (2)	・調査票の作成に関する注意点 (質問文)	
6	調査票の作成 (3)	・調査票の作成に関する注意点 (選択肢)	
7	サンプリング (1)	・サンプリングの理論と実際	
8	サンプリング (2)	・サンプリングの理論と実際	
9	記述統計 (1)	・データの種類と要約統計量の概要	
10	記述統計 (2)	・平均値の概要	
11	記述統計 (3)	・平均値の応用	
12	記述統計 (4)	・分散、標準偏差の概要	
13	記述統計 (5)	・分散、標準偏差の応用	
14	記述統計 (6)	・共分散、相関係数について	
15	度数分布表	・度数分布表について	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

新・社会調査へのアプローチ/大谷信介ほか/ミネルヴァ書房 (2013)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

計量経済学/田中勝人/岩波書店 (1998)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

試験で全て評価する。ただし、理由なく欠席をするたびに減点する。

◆オフィスアワー

火曜日 2 限目。研究室

◆その他受講上の注意事項

予習および復習を必ず行ってください。高校程度の統計学の知識を要します。

学習した箇所の統計処理を自身で行います。その際に、また、パソコンを利用する場合があるので、少なくとも Excel を使いこなせるようにして下さい。